

参加費 **無料**
定員 **150名**

なぜ老いる？ ならば上手に老いるには

— 国家戦略としての「フレイル予防」 —

加齢に伴う心身の活力低下により、入院や要介護の危険性が高まる状態である「フレイル」に着目！
「栄養・運動・社会参加」の3要素を一体的に推進！

～ 県民総ぐるみによる「フレイル対策」をスタートします ～

開催
日時

令和元年 **9月12日(木)** 18:30～20:30 (18:00開場)

会場

徳島グランヴィリオホテル
1階 グランヴィリオホール
徳島市万代町3-5-1

参加
対象者

医療・介護の専門職の皆様
地域で活躍するボランティアの皆様及び県民の皆様

講師

東京大学高齢社会総合研究機構
教授 **飯島 勝矢 先生**



【略歴】

1990年 東京慈恵会医科大学 卒業，千葉大学医学部附属病院循環器内科 入局，
東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座 助手，同講師，
米国スタンフォード大学医学部研究員を経て，2016年より現職の東京大学高齢社会総合研究機構教授
・内閣府「一億総活躍国民会議」有識者民間議員
・厚生労働省「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する有識者会議」構成員
・厚生労働省「全国在宅医療会議」構成員 他

【専門】

老年医学，老年学（ジェロントロジー：総合老年学）
特に，健康長寿実現に向けた超高齢社会のまちづくり，地域包括ケアシステム構築，フレイル予防研究，
在宅医療介護連携推進と多職種連携教育，大学卒前教育

【近著】

「老いることの意味を問い直す ～フレイルに立ち向かう～」(クリエイツかもがわ)
「東大が調べてわかった衰えない人の生活習慣」(KADOKAWA)
「健康長寿 鍵は“フレイル” 予防 ～自分でできる3つのツボ～」(クリエイツかもがわ)
「オーラルフレイルQ&A—口からはじまる健康長寿—」(医学情報社)